



## 筑波大学入試問題研究会が実施されました。

8月2日(木)に実施された研究会は今回で8回目となります。この日は、筑波大学アドミッションセンター長の**大谷先生**の『入試から見た筑波大学の求める人材』と題した講演に始まり、「筑波大学入試問題研究」の各執筆者による問題の解説と分析、学習アドバイスに続き、**井川先生**による「筑波大学の入試傾向」講話と、一日がかりの日程でした。1年生から3年生までの約80人の参加者は、メモをとったり、問題を解いたりと熱心に取り組んでいました。

「筑波大学」にターゲットを絞った研究会を実施している高校は、県内でも竜一だけです。志望者が最も多い筑波大学に、一人でも多く進学できるよう、今後も応援していきます。

### 筑波大学入試問題研究会の様子

I 9:00 ~ 9:10 開会行事

II 9:10 ~ 10:10 筑波大学アドミッションセンター長 **大谷 奨**先生による講演

### 「入試から見た筑波大学の求める人材」

～入試問題はアドミッションポリシーである～



【筑波大学AC長 大谷先生による竜一のための講演】



【学校長による開会挨拶】



【2019年度「入学者選抜要項と「大学入学案内」」】

■筑波大学は**多様な人材**を求めています。だから**多様な入試**を準備しています。それぞれの入試方法は全く違うものなので、自分を生かす、自分にあった入試方法を選び、挑戦してください。

■筑波大が求めている学力とは**十分な基礎学力**であり、入試問題は**標準的な良問**です。普段の授業を大切に、教科書をしっかりと理解するよう、コツコツ努力することが大事です。

■それぞれの**試験問題には、どのような人材を大学が求めているかを示すアドミッションポリシーが反映されています**。アドミッションポリシーを理解すれば出題の意図が見えてきます。**それぞれの学類、入試方法に見合った力**(例えば洞察力、分析力、表現力、社会的関心、明確な問題意識...)を身につけて受験に望んでください。

◀「昨日まで『海のむこう』にいた人が今では君の『隣の席』に。境界を越えて、目的に向けて、みんながここにやってきた。」(筑波大学入学案内より) 大谷先生からも「視野を広げよう。**学びの多様性**(学際性+国際性+共生+地方性)こそ筑波大の魅力です。」とありました。

III 本校先生方による入試問題分析と解説 10:25 ~ 15:30 (各講座60分)

④英語



⑤数学

⑥世界史



⑦日本史



⑧現代文



⑨古典



⑩生物



⑪物理



⑫化学



各教科からの  
アドバイスを  
参加者のメモを  
基にまとめました

**英語** 内容理解には語彙力・構造把握力・知識が必要。3読(速読・精読・音読)。**数学** 丁寧な誘導。標準レベル。オイラー線、整数の範囲、積分の体積・面積、不等式。**世界史** 暗記だけ×、流れをつかめ。政治史。頭の中に地図を描く。**日本史** 出題意図をつかむ。教科書重視。400字記述は国語力も必要。**現代文** 視野を広く、全体を読む力。時間配分注意。小説おもしろがる。**古典** 古文は和歌と主語、漢文は基礎知識。設問分析大事。**生物** 論述は1文50字定義理解。教科書と図表見てよく出る図は書けるように。**物理** 問題多→計算速。現象を説明する答案作成力。力学・電磁気学必須。**化学** 構造決定必。わかりやすく図で。高得点勝負。満遍なく。

IV 15:45 ~ 16:30 「筑波大学の入試傾向」分析

V 16:30 ~ 16:40 閉会行事



【井川先生入試傾向分析】

### 入試傾向分析

〈筑波大を目指すなら二次力=基礎学力→記述力をつけよう〉



【教頭先生から講評】

■筑波大学の個別試験は二次重視なので、記述の力をつけておくことが肝心。記述模試の目標は偏差値65。■センター目標は8割。B判定が取れた場合、合格最低点に必要な二次の得点率は約54~67%(体育・医学除く)。それ以上の記述力をつけることを目標にしよう。■志願者の動向に左右されない、自己流に走らない。まずは基礎学力を養う。それが自信になる。■2021年度からは大学入学共通テストが実施され、総合選抜が導入される。変化する入試方法に注意しておこう。

